

## ハウス軟白ネギの移植による夏どり、秋どり栽培

園芸試験場

### 1 取り上げた理由

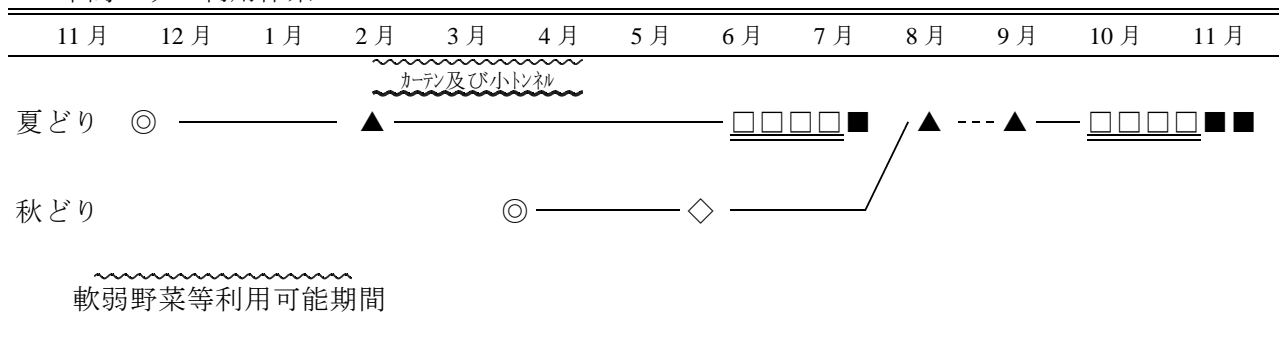
ハウス軟白ネギは肉質は柔らかく品質が良く、土寄せは不要なため慣行栽培に比べ栽植密度を高めて高収量が得られ、今後有望な品目である。

普及に移す技術第69号で12月直播、6月～7月収穫のハウス軟白ネギの作型を参考資料としたが、今回は移植栽培により、ハウスの利用効率を高める夏どり、秋どりの作型開発を検討したところ成果が得られたので普及技術とする。

### 2 普及技術

- 1) 夏どり栽培は、11月下旬～12月上旬にチェーンポットには種し、2月上旬に簡易移植機でパイプハウスに定植する。遮光フィルム（初作シルバー100等）を用い6月中旬頃から軟白処理を行う。なお、パイプハウスは4月下旬まで内張りカーテン及び小トンネルで保温する。
- 2) 秋どり栽培は、3月下旬にチェーンポットには種する。簡易移植機で5月下旬に露地に仮植する。夏穫りネギ収穫終了後から8月下旬までに、パイプハウスに定植し、9月下旬頃から軟白処理を行う。
- 3) 品種は夏どり、秋どりとともに、葉鞘のしまりが良く生育の早い「金長3号」等が適する。
- 4) ホウレンソウ等軟弱野菜との組み合わせにより、ハウスの年間利用を高めることが可能である。

年間ハウス利用体系



### 3 利活用の留意点

- 1) チェーンポットの用土は市販のネギ専用用土等を用いる。夏どり栽培終了後、順次露地に仮植したネギを定植することができる。
- 2) 基肥は緩効性肥料を用い、N-2.0kg/a程度とする。秋どり栽培は残肥を考慮する。定植後は高温乾燥を避け、適宜遮光やかん水を行う。
- 3) 軟白処理は葉鞘径18mm程度に達したころ軟白長35～40cmを目標に行う。

(問い合わせ先：園芸試験場栽培部 電話022-383-8132)

#### 4 背景となった主要な試験研究

- 1) 研究課題名及び研究期間 特産野菜の安定生産技術 平成8～10年  
 2) 参考データ  
 a 夏どり栽培

表一 夏どり軟白終了時（収穫時）生育状況（平成9年7月16日調査）

品 種	草丈 (cm)	葉数 (枚)	軟白長 (cm)	茎径 (mm)	葉鞘部 しまり	調製重 g/本	抽たい率 (%)
金長3号	107	3.9	35	15.5	2.0	182	5.0
東京夏黒2号	97	3.7	33	16.9	2.2	205	18.0
東京冬黒一本	99	3.7	39	15.8	1.6	205	0.0
長悦	107	3.5	36	14.7	1.8	145	0.0

注) 葉数, 茎径は調製後の枚数。調製重は葉付き。  
 縮まり; 1:緩い, 2:やや緩い, 3:しまっている。

#### b 秋どり栽培

表二 秋どり軟白終了時（収穫時）生育状況（平成9年11月7日調査）

品 種 名	全長 (cm)	軟白長 (cm)	茎径 (mm)	葉鞘部 しまり	調製重 g/本
金長3号	118	47	15.7	2.2	108
東京夏黒2号	106	41	15.7	2.1	117
東京冬黒一本	101	40	15.4	2.0	107

注) 葉数は枯葉を除き3～4枚に整理した。茎径は収穫調製後の値。  
 縮まり; 1:緩い, 2:やや緩い, 3:しまっている。

#### ◎ ハウス軟白ネギのaあたり粗収益

区 別	作 型	収 量	単 価	粗収益
ハウス軟白ネギ	夏どり	773kg/a	500 円/kg	386,500 円/a
〃	秋どり	631kg/a	400 円/kg	252,400 円/a
慣行露地ネギ	夏どり	400kg/a	278 円/kg	111,200 円/a
	秋どり	400kg/a	279 円/kg	111,600 円/a

軟白ネギ:FG袋L規格50本入り1ケース5kg, 慣行露地ネギ:立ネギL規格45本, M規格60本入り1ケース5kg

- 3) 発表論文等:なし。